



# 竹林

白河市立五箇中学校だより No.47

発行 令和3年3月11日  
発行責任者 校長 菅野 靖



## 令和2年度 第74回卒業証書授与式に向けて

明日は、卒業式です。8名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、3年前、輝く希望と夢を抱き五箇中学校に入学しました。この三年間にたくさんのことを経験し、多くのことを学び心も身体も成長しました。その成長の証として卒業証書が授与されます。卒業式は中学校の儀式的行事の集大成として最も大切な式であるの言うまでもありません。卒業式について、卒業式の全体練習の時に全校生に次の話をしました。



【3年生を送る会の集合写真】

中学校の卒業式は、9年間の義務教育を終える証の儀式であり、保護者の方（親）から教育を受けさせてもらっていた立場から、自分で望んで高等な教育を受ける立場になったり、一昔前は、社会に出て自立して生活する立場になったりする節目の式になります。

中学校の3年間は、心も体も成長が著しい中で、勉強や部活動、学校行事、生徒会活動など様々な経験をして、学力や行動力、人としての感受性や人とかかわる能力など人間性を育ててきました。そんな3年間で3年生は、楽しく笑い合ったり、感動したり、時には涙を流し悔しい思いをしたりしたことと思います。しかし、卒業式をもって、いろいろな思い出が詰まっている五箇中学校から3年生は巣立つことになります。だから、最後の儀式的な行事である卒業式は、3年生にとっては思い出深い、そして、感慨深い、感動する行事にする必要があるのです。また、義務教育を終えさせた親さんにとっても、自分の子どもが大人への巣立つセレモニーとして感慨深い卒業式にする必要があるのです。

コロナ禍の影響で、書面による教育委員会告示や来賓祝辞になります。また、式の中の歌が1番だけになるものもあります。そして、マスクをしたままの返事や歌唱となってしまおうという制約がかかってしまうところもあります。しかし、そのような中でも今与えられた状況で最高のパフォーマンスを示すことが、生徒の皆さんがやるべきことではないでしょうか。

卒業式は、卒業する3年生だけが頑張ればよいものではありません。在校生である、1、2年生も卒業式を作り上げるスタッフの一員です。3年生も、1、2年生も先生方も保護者の方々も、参加している全員で作る学校にとって一世代の式であるのです。

主役は、3年生、一人ひとりです。こんなに成長した姿を小さい頃の姿と重ねながら感慨深げに見つめている親さんを感動させてください。脇役である1、2年生は、「静」と「動」のメリハリのある言動で式を引き締めたり、盛り上げたりしてください。

本気で頑張ってきた思いがあるから感動するのです。一生懸命、打ち込んできた姿を見てきているから感動するのです。感動する素晴らしい卒業式を作り上げましょう。

## 楽しんだ「3年生を送る会」

3月5日（金）に卒業式予行の後に、生徒会主催の「3年生を送る会」がありました。今まで五箇中学校を牽引してきた3年生に感謝を伝え、門出を祝いました。生徒会役員が企画した次の3企画を全校生で楽しみ、3年生に感謝の気持ちを伝えることができた充実した時間でした。

- ①意外と知っているようで知らない先生方クイズ
- ②1、2年生がそれぞれ工夫を凝らして作成したビデオレター
- ③3年生の3年間フォトメモリー

最後に、在校生から感謝の言葉が綴られた色紙を3年生に贈呈し、3年生が感謝の言葉や後輩へのメッセージを述べて幕を閉じました。以下が【3年生の感想&メッセージ】です。

「クイズ、ムービーとても良い思い出になった」「いろいろ経験して頑張った」「すごくいい時間を過ごせた」「新入生を迎えて五箇中を盛り上げてください」「クイズで新しいことが知れた」「笑いっぱなしだった」「ケーキは家に帰ってから食べます」「歯をしっかりと守るために気をつけてください」「つらいこと、悲しいこと、怒ったことを全てひっくるめて楽しかった」「中学校生活でとても成長できた」「楽しんでつらいこと乗り越えてください」



【3年生を送る会での色紙の贈呈】